

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	リュープリン PRO 注射用キット 22.5mg	劇	市販直後調査 平成 27 年 12 月～平成 28 年 6 月
(英名)	LEUPLIN PRO FOR INJECTION KIT 22.5mg		
(規格・含有量)	容器中リュープロレリン酢酸塩 22.5mg 含有		
(一般名)	リュープロレリン酢酸塩		
(メーカー名)	武田薬品工業株式会社		
【薬価収載日】	2015 年 11 月		
【薬価】	102,414 円		
【薬効コード】	872499		
【薬効分類名】	LH-RH 誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤		
効能・効果	前立腺癌、閉経前乳癌		
用法・用量	24週に1回リュープロレリン酢酸塩として22.5mgを皮下に投与する。		
禁忌	1. 前立腺癌の場合 本剤の成分又は合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴のある患者 2. 閉経前乳癌の場合(1) 本剤の成分又は合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴のある患者 (2) 妊婦又は妊娠している可能性のある患者、授乳中の患者		
相互作用	記載なし		
副作用	重大な副作用 (全効能疾患共通) 間質性肺炎、アナフィラキシー、肝機能障害、黄疸、糖尿病の発症又は増悪、下垂体卒中、心筋梗塞、脳梗塞、静脈血栓症、肺塞栓症等の血栓塞栓症 (前立腺癌) うつ状態、骨疼痛の一過性増悪、尿路閉塞あるいは脊髄圧迫、心不全 (閉経前乳癌) 更年期障害様のうつ状態 その他 (前立腺癌) LDH上昇、ほてり、熱感、硬結 (閉経前乳癌) ほてり、熱感、のぼせ、肩こり、頭痛、不眠、めまい、発汗、関節痛、骨疼痛等の疼痛、硬結		

(薬品名)		劇	市販直後調査 平成 27 年 11 月～平成 28 年 5 月
(英名)	EquMet Combination Tablets HD		
(規格・含有量)	1 錠中ビルダグリブチン 50mg 及びメトホルミン塩酸塩(日局)500mg		
(一般名)	ビルダグリブチン、メトホルミン		
(メーカー名)	ノバルティス ファーマ株式会社		
【薬価収載日】	2015 年 11 月		
【薬価】	85.20 円		
【薬効コード】	873969		
【薬効分類名】	選択的 DPP-4 阻害剤/ビグアナイド系薬配合剤 [2 型糖尿病治療薬]		
効能・効果	2 型糖尿病 (ただし、ビルダグリブチン及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。)		
用法・用量	通常、成人には1回1錠(ビルダグリブチン/メトホルミン塩酸塩として50mg/250mg又は50mg/500mg)を1日2回朝、夕に経口投与する。		
禁忌	<p>1. 本剤の成分又はビグアナイド系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>2. 次に示す状態の患者〔乳酸アシドーシスを起こしやすい。〕</p> <p>(1) 乳酸アシドーシスの既往</p> <p>(2) 中等度以上の腎機能障害〔腎臓におけるメトホルミンの排泄が減少する。〕</p> <p>(3) 透析患者(腹膜透析を含む)〔高い血中メトホルミン濃度が持続するおそれがある。〕</p> <p>(4) ショック、心不全、心筋梗塞、肺塞栓等心血管系、肺機能に高度の障害のある患者及びその他の低酸素血症を伴いやすい状態〔乳酸産生が増加する。〕</p> <p>(5) 過度のアルコール摂取者〔肝臓における乳酸の代謝能が低下する。〕</p> <p>(6) 脱水症、脱水状態が懸念される下痢、嘔吐等の胃腸障害のある患者</p> <p>3. 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者〔輸液、インスリンによる速やかな高血糖の是正が必須である。〕</p> <p>4. 重度の肝機能障害のある患者〔肝臓における乳酸の代謝能が低下し、乳酸アシドーシスを起こしやすい。また、肝機能障害が悪化するおそれがある。〕</p> <p>5. 重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者〔インスリン注射による血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。また、乳酸アシドーシスを起こしやすい。〕</p> <p>6. 栄養不良状態、飢餓状態、衰弱状態、脳下垂体機能不全又は副腎機能不全の患者〔低血糖を起こすおそれがある。〕</p> <p>7. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人</p>		
相互作用	<p>本剤作用増強 ヨード造影剤、ゲンタマイシン等、β-遮断剤、サリチル酸剤、MAO 阻害剤、フィブラート系薬剤等</p> <p>本剤作用減弱 アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、卵胞ホルモン、利尿剤、ニコチン酸、フェノチアジン系薬剤等、ピラジナミド、イソニアジド</p> <p>本剤他剤作用増強 糖尿病用剤(スルホニルアミド系及びスルホニルウレア系薬剤、ビグアナイド系薬剤、インスリン製剤、チアゾリジン系薬剤、α-グルコシダーゼ阻害剤、SGLT2 阻害剤、速効型インスリン分泌促進剤、GLP-1 受容体作動薬等)、有機カチオン輸送系を介して腎排泄される薬剤(シメチジン)</p> <p>その他 利尿剤、SGLT2 阻害剤等、たん白同化ホルモン剤、アンジオテンシン変換酵素阻害剤</p>		
副作用	<p>重大な副作用 乳酸アシドーシス、肝炎、肝機能障害、黄疸、血管浮腫、低血糖、横紋筋融解症、急性膵炎、腸閉塞、間質性肺炎、類天疱瘡</p> <p>その他 5%以上の記載なし</p>		

(薬品名)	プロセキソール錠
(英名)	PROSEXOL TABLETS
(規格・含有量)	1錠中 日局エチニルエストラジオール 0.5mg
(一般名)	エチニルエストラジオール
(メーカー名)	あすか製薬株式会社
【薬価収載日】	1981年9月
【薬価】	35.80円
【薬効コード】	872474
【薬効分類名】	エチニルエストラジオール製剤
効能・効果	前立腺癌、閉経後の末期乳癌(男性ホルモン療法に抵抗を示す場合)
用法・用量	前立腺癌、乳癌には、通常1回1～2錠を1日3回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。
禁忌	1. エストロゲン依存性悪性腫瘍(例えば、乳癌、子宮内膜癌)及びその疑いのある患者(治療の目的で投与する場合を除く)[腫瘍の悪化あるいは顕性化を促すことがある。] 2. 未治療の子宮内膜増殖症のある患者[子宮内膜増殖症は細胞異型を伴う場合があるため。] 3. 血栓性静脈炎、肺塞栓症又はその既往歴のある患者[血液凝固能の亢進により、これらの症状が増悪することがある。] 4. オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤を投与中の患者
相互作用	本剤作用増強 HIV プロテアーゼ阻害剤(アタザナビル、インジナビル)非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤(エトラビル)、フルコナゾール 本剤作用減弱 リファンピシン、バルビツール酸系製剤(フェノバルビタール等)、ヒダントイン系製剤(フェニトインナトリウム等)、カルバマゼピン、ボセンタン、モダフィニル、トピラマート、テトラサイクリン系抗生物質(テトラサイクリン等)、ペニシリン系抗生物質(アンピシリン水和物等)、テラプレビル、HIV プロテアーゼ阻害剤(ネルフィナビルメシル酸塩、リトナビル、ダルナビル、ホスアンプレナビル(リトナビル併用時)、ロピナビル・リトナビル配合剤等)、非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤(ネビラピン)、セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品 本剤他剤作用増強 ボリコナゾール 本剤作用増強、他剤作用減弱 アセトアミノフェン 他剤作用増強 オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤(ヴィキラックス)、副腎皮質ホルモン(プレドニゾロン等)、三環系抗うつ剤(イミプラミン等)、セレギリン塩酸塩、シクロスポリン、テオフィリン、オメプラゾール 他剤作用減弱 Gn-RH 誘導体(ブセレリン酢酸塩等)、血糖降下剤(インスリン製剤、スルフォニル尿素系製剤、スルホンアミド系製剤、ビッグアナイド系製剤等)、ラモトリギン、モルヒネ、サリチル酸 その他 テルビナフィン塩酸塩
副作用	重大な副作用 血栓症、心不全、狭心症 その他 5%以上の記載なし

削除医薬品通知

●5月2日より

メタボリン注射液 50mg/1ml	5/2 削除
ヒデルギン舌下錠 1mg	5/2 削除
アボルブカプセル 0.5mg	5/2 削除

医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
●5月2日より メチルエルゴメトリンマレイン酸塩錠 0.125mg「F」	メテルギン錠（子宮収縮剤）0.125mg（販売中止）

後発医薬品採用通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品
●5月9日より ロキソプロフェン錠 60mg「EMEC」 ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%「日医工」 25g アネトカインゼリー2%（内視鏡常備のみ）	ロキソニン錠 60mg（外来、退院処方のみ） ヒルドイドソフト軟膏 0.3% 25g（外来、退院処方のみ） キシロカインゼリー2%